

伊達市内のしごとを増やす事業【グループA】

強み

【ポイント1】子供を預ける場所があり、仕事を続けやすい環境

- ◆ 認定こども園など子どもを預ける環境が多い。
- ◆ 小・中学校（保育園・幼稚園も含めて）の数はある。
- ◆ 子育てのポテンシャルはある。

【ポイント2】地理的な優位性

- ◆ 福島市に近く仙台にもやや近い。
- ◆ 相馬福島道路、復興道路建設などで「浜通り」と「中通り」の拠点地域。
- ◆ 復興道路の開通、首都圏までの時間短縮。

【ポイント3】低コストでの新規事業を生み出すことが可能な環境

- ◆ 耕作放棄地などを活用した新ビジネスを作る場所としては良い条件下にある。
- ◆ 低価格な広い農地等の土地があり、工場・商業施設の誘致に良い条件下にある。
- ◆ 緑が多く農地が広がっている。
- ◆ 使われなくなった公共施設等の建物があり、低コストで新規事業が展開できる。
- ◆ 光通信網完備（市内全域光ファイバー）

【ポイント4】伊達市の認知度の高さ

- ◆ 放射能で世界的に有名。（IAEAも知っている）

弱み

【ポイント1】伊達市内の働く場の少なさ

- ◆ 働く場所が不足している。（市内に仕事が少ない）
- ◆ 賃金（給与）の高い企業が少ない。（給与金額に魅力がない）
- ◆ 退職まで安心（安定）して働ける企業が少ない。
（労働条件に魅力がない）
- ◆ 働きたい職種の企業が少ない。
（若い世代に魅力的な雇用の場が少ない）
- ◆ 将来的に大きく成長できるような企業が少ない。
（大きな企業が少ない）
- ◆ 県の北部、地理的な場所から狭いエリアでの商業圏。

【ポイント2】地理的な面からのデメリット

- ◆ 魅力的な買い物などができる施設が少ない。
- ◆ 便利な方へ生活しやすい方へ人が流れる。特に若い人は便利な方に就職する。

【ポイント3】放射能に対する不安感

- ◆ 放射能に関する不安感。

【ポイント4】伊達市としてのブランド感の低さ

- ◆ 高校生の地元離れ（優秀な人材は福島市へ行ってしまう）
- ◆ 市のブランドイメージがない。
（昔は、養蚕やメリヤスとかあったのだが…）

伊達市内のしごとを増やす事業【グループB】

強み

- ◆ 農業関連
 - ①農産物の生産量及び種類が豊富である
 - ②農産物がブランド化されている
 - ③豊かな土壌があり更なる発展の可能性がある
- ◆ 交通網が充実される
- ◆ 女性の就労意欲が高い
- ◆ 観光資源（霊山、伊達氏、各種イベント）が豊富である

弱み

- ◆ 山林の荒廃が進んでいる
- ◆ 農業の担い手（後継者）が不足している
- ◆ 風評被害がある
- ◆ 観光資源を生かしていない
- ◆ 公共交通機関の便が悪い（中山間地域）
- ◆ 若年世代の流出がある
- ◆ 元気な高齢者を生かしきれていない
- ◆ 介護施設では人材不足になっている

伊達市内へひとの交流・往來を増やす事業【グループC】

強み

- ◆ 子どもの遊べる公園がある、霊山子どもの村がある
- ◆ 豊かな自然がある
- ◆ 桜の名所がある
- ◆ 交流のための地域資源がある
- ◆ 農作物が豊富
- ◆ ももの里マラソン大会がある
- ◆ 国道4号が走っている
- ◆ JRや阿武隈急行がある
- ◆ 歴史がある（伊達氏）

弱み

- ◆ レジャー施設が少ない
- ◆ 魅力のある場所が少ない
- ◆ 泊まる場所がない
- ◆ 公共交通の利便性が悪い
- ◆ お土産がない
- ◆ 地域移住コーディネーターがない
- ◆ 交流の窓口がない
- ◆ 働く場所がない
- ◆ シティプロモーションが不足している
- ◆ 地域の人たちの意識改革がなされていない
- ◆ 放射能の被害がある

- ◆ 廃校となる学校がある・・・強みにもなる
- ◆ 空き家の活用ができていない・・・強みにもなる

伊達市内の若者の希望をかなえる事業【グループD】

強み

- ◆ 子育て資源が充実し、特に乳幼児期の環境が整っている。
- ◆ 各地域に子育て支援拠点（子育て支援センター、子育て相談センター）が整備され、身近な相談の場がある。
- ◆ 認定こども園、屋内遊び場が整備されつつある。
- ◆ 子育て支援ヘルパーや第3子に対する出産一時金など、子育て支援の施策が進められている。
- ◆ 妊娠期からの健康管理が充実している。
- ◆ 聖光学院高校という全国的な知名度の学校があり、関西などからの生徒の誘致が期待できる。

弱み

- ◆ 働く場が少ない。
- ◆ 若者の交流の場が少ない。
(大規模イベントホール、婚活イベント等)
- ◆ 公共交通機関が不十分であり、通学の利便性が低い。
- ◆ 住宅を建てる場が少ない。
(市街化区域、市街化調整区域の問題)
- ◆ 教育レベル（学力）が低い。
- ◆ 支援・サービス・相談・保健の総合的な対応
※子育てのキャッチフレーズを考えてが必要

伊達市内外の安心なくらしの供給を増やす事業【グループE】

強み

- ◆ 地域のつながり（自治会・防災組織など）がしっかりしている
- ◆ 事件、事故が少ない
- ◆ 地域の資源が豊富
- ◆ 歴史や文化的財産がたくさんある
- ◆ 農産物がたくさんある
- ◆ 市街地等への移動がしやすい
- ◆ 仙台、福島、郡山への移動が容易
- ◆ ロケーションが良い
- ◆ 子育ての環境が充実している
- ◆ 健康な高齢者が多い

弱み

- ◆ 空き家の増加
- ◆ 市内の交通の便が悪い
- ◆ 医療機関等の不足（病院、介護、各種施設、システムなど）
- ◆ 年寄りが強すぎる
- ◆ 大学がない
- ◆ 働く場が少ない（商店、各種企業など）
- ◆ 少子高齢と人口減少
- ◆ 地域犯罪の増加（市内の特定地域が増えている）
- ◆ 耕作放棄地（遊休農地）の増加

自治体連携を増やす事業【グループF】

強み

- ◆ JR、阿武隈急行が通っている。
- ◆ 合併の経験があり、各地域で施設等が整っている。
- ◆ 宮城県と接しているため、他県民との交流や観光客・買物客が来やすい。
- ◆ 県内では大規模な市（福島市）に接している。
- ◆ まだ固まったイメージがないので、今後、理想とするイメージをつけやすい。

弱み

- ◆ 核となる都市部がない。
- ◆ 道路の狭いところはまだ多数ある。
- ◆ 市街化調整区域があり開発制限を受ける。
- ◆ 「伊達市」が全国的にあまり知られていない。